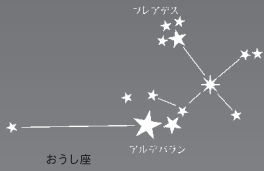


ポラリスを仰ぐ北の大地から



仙台での散策

留萌医師会 会長 川上 康博

次男が仙台で働いている間にと、家族で10月の連休を利用して仙台に行きました。

以前仙台を訪れた時は海方面を観光したので、今回は山方面の観光にしました。

仙台にいる友人の案内で、7日早朝より友人の車で仙台から山形の山寺（立石寺）を訪れ、1,000（正式には1,015）段の石段を登ってきました。事前に友人よりウォーキング用の靴でと言われていたので、靴のおかげで石段を足腰に負担なく登ることができました。切り立った断崖にある立石寺は、松尾芭蕉が奥の細道で“閑さや岩にしみ入る蟬の声”と詠んだ千年以上続くお寺で、連休の中日の影響で観光客がいっぱいでしたが、一段二段と登るにつれて悪縁を断ち切ってくれると言われる石段を登り、奥之院五大堂から眺める景色は心が静まるようでした。下山後、茶屋で芋煮そば（札幌でも出す店があるそうです）、玉こんにゃくを初めて食しました。その後、色づき始めた木々のなか秋保温泉まで行き、一日5,000個売れるスーパー“さいち”のおはぎ（仙台駅でも土日限定で販売されていますが、すぐ売り切れになるそうです。1個108円のリーズナブルな価格です）を足湯に浸りながら食し、650メートルの整備された磊々峽を散策し、視橋の上から覗いて♡マークの岩を年甲斐もなく見て来ました。

開業するとなかなか休みがとれず、月曜日の祝日振替休日を利用して土曜日から月曜日までの3日間での旅行くらいしかできません。しかし短期間ではありますが、北海道と違う景色や食べ物で心身ともにリフレッシュされたように思います。

今年のゴールデンウィークはめったにない長い休みになりそうなので、またどこかに行ってみたいと思います。



宗谷医師会より、新年おめでとうございます

宗谷医師会 会長 櫻井 晴邦

さて、また私の大嫌いな寒い冬と、苦手な執筆依頼がやってきました。当院は父からの開業50年となりましたが、50周年とは言っても私が継いでから20年。父も他界しているため実感が湧きません。従業員もまだ2人ほど父の代からのベテランさんが現役のため、まだトップではないのです。市内の諸先輩方もほぼ引退となり、とても寂しくなりました。趣味も無く何かしなければ月日が早く流れていきます。

そんなこともあり、最近は美味しいものを食べログ等で探してTRYしていますが、高評価のラーメン店の行列に並んでも美味しかったこともなく、完食できず。牡蠣も好物のはずが有名店でも生臭くてギブアップなど、私の味覚、臭覚がおかしいかと疑ってしまいます。牛肉などは、す〇屋の牛丼、〇ックのハンバーガーはオージーの草の臭いで食べられません。本国のUS〇ックは大好物です。鶏肉も時々有名店でも塩素の臭いがすることがあります。昔からマグロもブリも鰹も酸味が感じられ、あまり好物ではありません。この味覚は正常なの？

臭いについても、診察中の患者さんからの牛糞の臭いや魚臭は地域柄仕方ないのですが、最近は柔軟剤や芳香剤？などの匂いが目に滲みるくらいとっても辛いものがあります。特に学生さんに強く、母親の洗濯だと思いますが、皆様は診察時の臭いは大丈夫でしょうか。

そういえば死期の匂いも昔からすることがありますが、ほんとか？匂いフェチ、更年期障害？でも死期の匂いは昔からだし。子どもが小さい頃、車内の臭いで酔うと言うので匂いで車を選んだことを思い出しました。遺伝か？

唯一、都会の横断歩道を10m先に歩いているお嬢さんの湯上りの匂いが一番幸せかも？これって最近犯罪ですかね。